

2007年度 JSSGS 春季研究交流会 開催のご案内

日本スポーツとジェンダー学会（以下、JSSGS）主催「春季研究交流会」を合宿形式で開催いたします。半日または1日の研究会は、講師をお招きしご講演いただくことで、新しい知識を得る事が可能ですが、ディスカッションを深めるにはもの足りない・・・という、これまでの参加者からのご意見を反映したものです。今回は、春の趣を感じていただけるフラワー・パークでの開催を企画いたしました。

本研究交流会では2つのねらいを設定しています。ひとつは、次回学会大会で扱うテーマに関連する文献や資料を読み、ディスカッションを通して、次回大会に備えることです。もうひとつは、これまでのJSSGSの研究事業の中で課題としてあげられた問題や新しい話題をとりあげ、研究を進める契機となる情報交換を行うことです。

学会大会形式ではできない研究交流・情報交換ができる機会になりますよう、多くの会員の方のご参加をお願いいたします。

開催要項

<日時> 研究交流会 2008年3月29日（土）13時～3月30日（日）15時

<場所> 神戸市立フルーツ・フラワーパーク（以下FFPと略）

〒651-1522 神戸市北区大沢町上大沢 2150 TEL:078-954-1000（代）

<http://fruit-flowerpark.jp/index.html>

<参加費および必要な費用>

- A. 一人部屋希望の場合 13,500円（宿泊代・入浴税・3食・資料代を含む）
- B. 二人部屋希望の場合 12,500円（同上）

※ 現地までの交通費は個人負担となります。また、参加人数によっては資料代を一部返金または追加する場合がありますのでご了承ください。

※ FFPに入場するために入園料500円が必要です。

<会場までのアクセス>（別紙のマップ参照）

大阪駅からJR福知山線「三田」駅下車。「三田」駅からは無料送迎バスがあります。（送迎バスは毎時30分（例：12時30分）に三田駅を出ています。（FFPまでは約20分です。タクシーを利用する場合は約2,500円）

※ 自家用車でお越しの場合は駐車料（乗用車の場合1台500円）が必要です。

※ その他部屋の雰囲気や車でのアクセス等の詳細はHPをご参照ください。

<申込方法および入金>

- 参加希望者はJSSGS研究委員会の来田享子まで本案内書類に添付された申込書に必要事項を記入してメールまたはFAXで申し込んでください。
- 申込〆切は **2008年2月末日** です。全員が部屋タイプシングル希望の場合は20名、ツイン利用の場合は40名までを定員としています。先着順に受付け、定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- 入金方法：参加申込書受領後、担当の来田からお知らせします。3月5日までに指定の銀行口座への振り込みをお願いすることになりますので、ご予定ください。

申込用メールおよびFAX番号：kraita@sass.chukyo-u.ac.jp

FAX 0565-46-6568

<研究交流会の内容とスケジュール>

■日 程

29 日 (土)		30 日 (日)	
13:00	集合	7:00～	起床・朝食
13:30～ 15:30 (30分休憩)	研究会 1 (メディア論文献抄読)	9:00～	研究会 2 (ジェンダー・センシティブなスポーツ報道をめざすためのガイドライン素案づくり)
16:00～ 18:00	研究会 2 (EU Council による性的マイノリティとスポーツに関する報告書・決議等の資料抄読)	12:00	昼食
21:00～	夕食・入浴 イブニング・サロン (体育における武道・ダンス必修化に関するディスカッション)	午後～	予備時間帯
23:00	就寝		

■研究会 1 について

○テーマ：メディア・リテラシーの基本的な考え方と学び方を検討した上で、第7回大会シンポジストによる具体的なスポーツ報道の分析に関する論考の章を読む。

○文 献：鈴木みどり編『メディア・リテラシーの現在と未来』
世界思想社、2001（定価 2300 円）

○抄読する箇所：

第1部 理論

※第1章 日本におけるメディア・リテラシーの展開 pp.2-25（鈴木みどり）

第2章 【メディアを教える】（1985年）pp.26-80（レン・マスターマン著）

第2部 学びの実践

第1章 ジャーナリズムとメディア・リテラシー pp.100-117（鈴木みどり）

第3章 シドニー・オリンピック「南北合同行進」の伝えられ方／視られ方
pp.140-157（阿部潔）

※第1部第1章「日本におけるメディア・リテラシーの展開」は2000年頃の社会状況に合わせてメディア・リテラシーの必要性を論じた章ですが、現在のメディア状況と少し違いますので、レジュメを作成する必要はなく、各自がそれぞれ読んでくる

○抄読の方法：参加者が上記の箇所を各自で読んでくるとともに、参加申込集約後、希望してくださる方に研究委員会がレジュメ作成を依頼し、当日はそれを中心にディスカッションを進めます。

■研究会 2 について

○テーマ：第7回大会 WS2（ミニシンポジウム形式を予定）として企画されている「性的マ

イノリティとスポーツ」(正式名は未定)に関する基礎的資料を読む

○文献: 下記の文献一覧を記載された URL からダウンロード/印刷して、各自で読んでくる。(日本語版の要約等は当日配布)

文献一覧表

ファイル No.	日付	タイトル	種類	URL
doc9988	2003.10.21	Lesbians and Gays in Sport	レポート	http://assembly.coe.int/main.asp?Link=/documents/workingdocs/doc03/edoc9988.htm
doc10001	2003.11.20	Lesbians and gays in sport	レポート	http://assembly.coe.int/main.asp?Link=/documents/workingdocs/doc03/edoc10001.htm
rec1635	2003.11.24	Lesbians and gays in sport	リコメンデーション	http://assembly.coe.int/main.asp?Link=/documents/adoptedtext/ta03/erec1635.htm
doc10366	2004.11.28	Lesbians and gays in sport	リプライ	http://assembly.coe.int/main.asp?Link=/documents/workingdocs/doc04/edoc10366.htm

※上記 URL から資料が入手できない場合は来田までご連絡ください

■研究会 3 について

○テーマ: 第 7 回大会 WS1 は「スポーツとメディア、ジャーナリズム (仮題)」が予定されており、以下の概要で企画が進められている。大会当日の WS1 の進行に資する「ガイドライン」の素案づくりを行う。(具体的な方法や準備については、後日、参加者に連絡します)

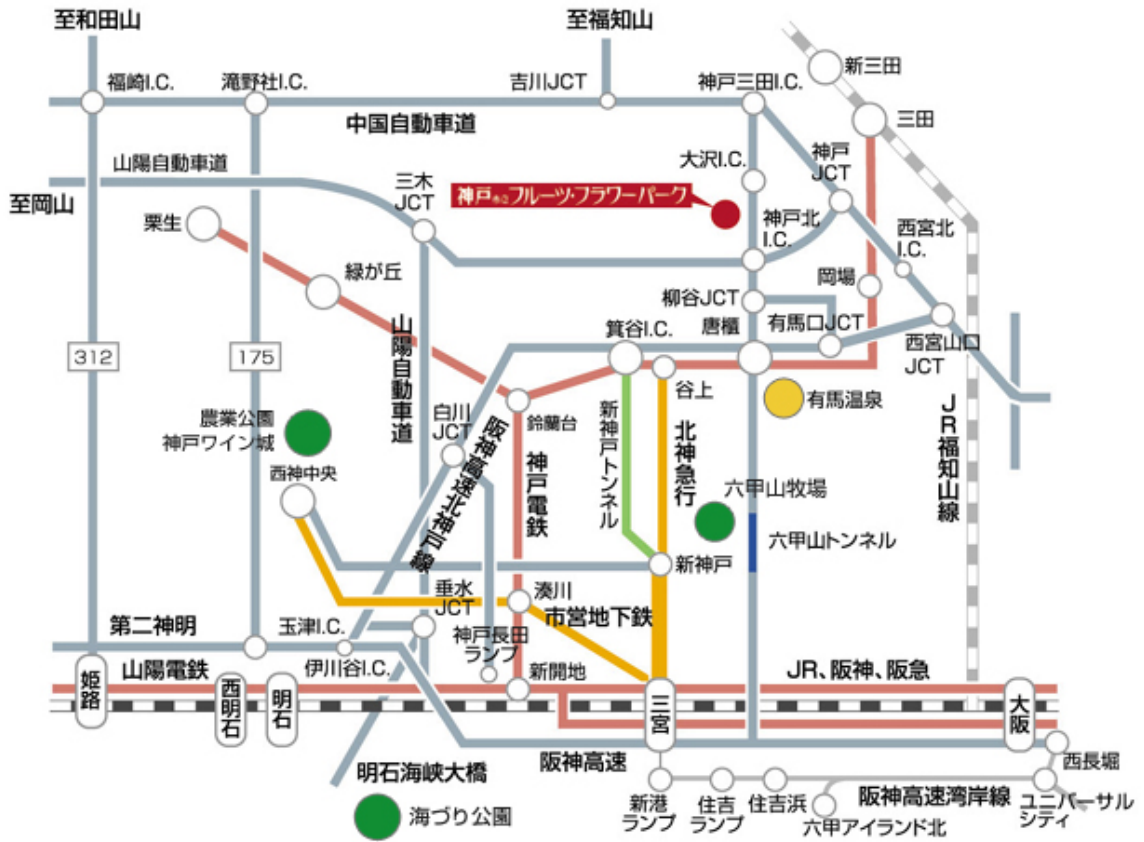
○第 7 回大会 WS1 の概要:

新聞記事あるいはテレビ映像などのメディア分析を通して、WS 参加者とともに日本のメディア状況に即したジェンダー・センシティブなスポーツ報道をめざすためのガイドラインを検討する。その際、日本の新聞社や放送局がもつ報道指針や番組基準、海外のガイドラインなどを参照する。WS 終了後に、ガイドラインの方向性を提案することを WS の目標とする。

■イブニング・サロンについて

2010 年から体育における武道・ダンスが必修化されることになっています。これに関して、体育教員養成課程を有する大学のカリキュラム変更、予想される現場での問題点、必修化の功罪について意見交換や情報交換を行います。各自で紹介したい資料や情報があれば、お持ち寄りください。

神戸市立フルーツ・フラワーパークへの交通マップ



2007 年度 JSSGS 春季研究交流会 申込用紙

■氏名（ふりがな）：

■所属：

■連絡先 E-mail

■自宅住所： 〒

■自宅電話および FAX：

■所属住所： 〒

■所属電話および FAX：

■合宿中の緊急連絡先（Tel）：

■研究会 1 での文献抄読会でレジュメ作成を希望する方は、希望する章に○をつけてください。
（希望しない場合は空白で結構です）

（ ） 第 1 部理論 第 2 章【メディアを教える】

（ ） 第 2 部学びの実践 第 1 章ジャーナリズムとメディア・リテラシー

（ ） 第 2 部学びの実践 第 3 章シドニー・オリンピック「南北合同行進」の伝えられ方／
視られ方

■部屋希望 宿泊部屋タイプの希望に○をつけ、ツインルームを選択した場合に同室希望者が
あれば氏名をお書きください。

（ ） シングル希望

（ ） シングル希望だが参加希望者が多い場合はツインでもよい

（ ） ツイン希望 同室希望者氏名：

■その他、連絡事項があればお書きください。